

①. 【 志望校の『入学者の受入方針 (アドミッション・ポリシー)』を読もう 】

きちんと調べずに志望校を決めてしまい、入学後に後悔……これだけは避けたいと思いますが、そのためにぜひ確認しておきたいのが、各大学、各学部が公表している「入学者の受入方針 (以下、アドミッション・ポリシー)」です。これは各大学のWebサイトに載せられていますが、総合型・学校推薦型選抜で受験する人にとって「アドミッション・ポリシー」を熟読し、理解しておくことは必須です。面接などではそのことが深く問われます。しかし、「アドミッション・ポリシー」は、一般選抜受験者にとっても、出願校を見極める上で、ぜひ知っておきたい情報です。「アドミッション・ポリシー」を読むと、その学校や学部で学んだ先に何があるのか、自分がどのように成長し、どのように活躍ができるのかがイメージしやすくなります。さらに、各学校が「求める学生像」などが書かれており、入試の傾向をつかむ手がかりにもなります。3年生だけでなく、1・2年生も、自分の気になる学校の「アドミッション・ポリシー」をよく読んで、学校選びに役立ててもらいたいと思います。

● 明治大学情報コミュニケーション学部の例：「入学志願者に求める高校等での学習への取り組み」

入学志願者の皆さんには、……高校の授業科目すべてをしっかりと学習し、基礎的な学力を十分養っておくことを期待しています。

…… 全ての科目について、まず教科書をしっかりと理解することが大切です。それに加えて二次的な教材をうまく活用して学習を発展させておけば、そのような学習態度は、大学でも生かすことができるでしょう。高校ではまずしっかりと基礎的な学力を充実させることが、大学での研究をよりよく発展させるための条件となります。

明治大学の入学志願者には、高校のすべての授業において、教科書を中心とした基礎的な学力を養うことが求められています。自分の志望校についてもぜひ調べてください。

②. 【 苦手科目を克服しよう … 入試では「得意科目を伸ばす」より重要 】

多くの受験生は、どうしても得意科目・好きな科目に力を入れてしまいがちです。しかし「得意科目をより伸ばす」よりも『苦手科目を作らない』ことが受験では重要になります。

下のグラフの縦軸は、駿台の全国模試受験生の〈英・国・地歴公民〉3科目の全国偏差値の組合せであり、『A：55～(得意科目)、B：45～、C：45未満(苦手科目)』を示します。横軸はそれぞれの組合せの受験生が、明治・立教大学の文系学部を受験した時の合格率を示したものです。

